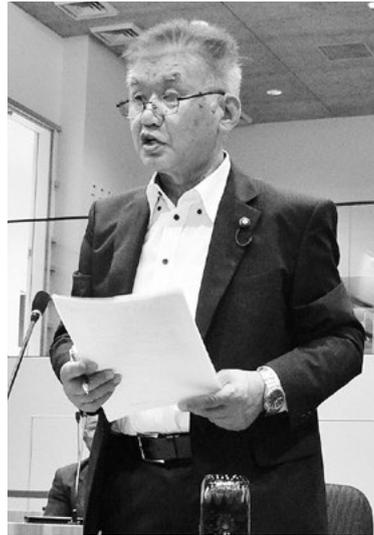


**Q** 歴史を活かしたまちづくりを継承していくための取り組みは

**A** 計画期間の10年間で歴史公園の整備や人材育成などに取り組む



阿部泰藏議員

**企画情報 課長** 町並みも町民共有の財産と考えており、後世に伝えるための景観計画の策定もしている。

町並みは文化であることの啓蒙啓発と趣旨の理解へ向け取り組みたい。

**企画情報 課長** 旧大木戸小学校について「歴史」をキーワードに文化財の保存展示と情報発信の機能、交流の場としての機能を盛り込み、平成26年度に実施設計を完了した。

改修面積は1階部分の350㎡、整備の費用は5000万円と見込んでいます。財源は歴史まちづくり計画の環境で文化庁の補助を受け、管理運営については今後具体的に検討を進める。

の中で国や県の支援も受けながら様々な事業に取り組む。

ハード事業では、特に下二重堀地区では防塁と中尊寺蓮など歴史公園として整備を図ることとしている。

ソフト事業では、無形民俗文化財の学術的な記録・保存、調査事業の実施、教育委員会と連携して歴史読本の副教材の作成、道の駅を核とする交流の場の歴史情報コーナーでの歴史の案内人や歴史観光ガイドの育成にも取り組む。

**企画情報 課長** 計画の観点として位置づけている道の駅への補助率が40%から45%にかさ上げされ、文化遺産の記録保存や調査などに文化庁の補助が採択された。

最大のメリットは策定を通じて町には様々な「たからもの」があることが共有できたこと。

**問** 歴史的財産としての古民家の建て替えやリフォームには助成はあるのか。

**企画情報 課長** 10年間の計画の中で、該当する建物の数や修繕の頻度を踏まえての検討を行う。

最大のメリットは策定を通じて町には様々な「たからもの」があることが共有できたこと。

**問** 歴史や歴史的芸能を活かしたまちづくりを地域で守り後世に継承することが我々の果たす役割だと思ふ。

町としての今後の取り組みを伺う。

歴史や歴史的芸能を活かしたまちづくりを地域で守り後世に継承することが我々の果たす役割だと思ふ。

**問** 町歴史的風致維持向上計画について、計画の策定に至った経緯は。

町歴史的風致維持向上計画に

**町長** 歴史的風致維持向上計画は、単に東日本大震災前

の状態に戻すのではなく、これを機に新しい町を再生し、国見の未

来をみんなでつくり、町の歴史や伝統を末永く維持発展させるために策定し、国から認定をいただいた。

**問** 計画の認定を受けたことでの町事業へのメリットは。

計画の認定を受けたことでの町事業へのメリットは。

**問** 今まで景観保の売買や改築の基準がなかった。

計画を達成するため基準を設ける考えはあるのか。

**問** 旧大木戸小学校の歴史文化の収蔵・保管・展示施設としての整備について、施設面積や整備費、案内人についてはどうなっているのか。

旧大木戸小学校の歴史文化の収蔵・保管・展示施設としての整備について、施設面積や整備費、案内人についてはどうなっているのか。

**町長** 今年度から計画期間の10年間

文化財に触れて歴史探検 (国見小6年生)



# Q 道の駅の目玉となるような 物品販売は

## A 国見らしさとマッチするものを検討

た7つの部会に分かれて  
いる。

**問** 年間を通して  
品物を途切れな  
く出荷するための工夫  
は。

品目の部会があるのか。

**まちづくり  
交流課長** 消費者へ  
の農産物の

品目別部会から成り、  
品目別部会は米、野菜、  
果樹、花き、加工食品、  
手工芸品、特産品といっ

安定的な供給と出荷者  
に対する再生産可能な  
価格維持は直売所運営  
の最も重要なことであ  
る。開業から数年はま  
ちづくり会社が市場か  
ら仕入れて販売したり  
出荷組合による自主的  
な出荷調整などもあり  
得るものと想定してい  
る。

**問** 平成28年度  
のオープンを目  
指して土地の造成が進  
んでいる道の駅につい  
て、建物の建設はいつ  
ごろ始まり、完成はい  
つの予定か。

事に入った。  
建物の建築工事につ  
いては、造成工事完了  
に合わせて発注ができ  
るものと考えており、  
平成28年度中のオープ  
ンに向けて鋭意作業を  
進めていきたい。

### 町長

道の駅を核と  
した交流の場の  
造成工事は、5月の連  
休明けから本格的な工

### 問

農産物等生産  
物出荷組合には  
具体的にはどのような



初開催で大盛況のくにみ市場

**問** 道の駅の目玉  
となるような物  
品の販売は考えている  
のか。

**まちづくり  
交流課長** 今考えて  
いるのは、

町の農産物や商品を大



上手に採れたかな？（国見小桃の学習）

### 問

コンビニなど  
の導入計画は。

### まちづくり 交流課長

切にし磨き上げを行っ  
て販売展開する方法、  
全国的に認知されブラ  
ンドとして確立してい  
る商品を直接仕入れて  
販売する方法の2つ。  
現在、「国見らしさ」と上  
手にマッチするものは  
どのようなものか検討  
している。

要望を  
真摯に受け  
止め、柔軟な店舗運営  
に理解を示した「ミニ  
ストップ株式会社」とま  
ちづくり会社との間でフ  
ランチャイズ契約を締  
結した。



松浦常雄議員